

第58回

愛知県消防操法大会



県内各市町村の消防団から選抜かれた選手たちの真剣勝負。県消防操法大会が、初めて西尾市で開催されます。消防操法大会は消防団員の消防技術の向上と士気の高揚を図り、消防活動の進歩充実に寄与することを目的に行われています。連日の厳しい訓練を通して磨き上げた消防団員たちの技術を、ぜひご覧ください。

開催日時 8月10日(土) 午前8時30分(西尾市消防団

は、午前9時28分頃ポンプ車操法の部に出場予定)

※小雨決行。予備日：8月12日(月)

開催場所 坂田球場(一色町)

駐車場 一色さかなセンター駐車場(一色町)

※詳しくは次ページの会場案内図をご覧ください。

競技種目と出場団数

▼ポンプ車操法：23団

▼小型ポンプ操法：14団

その他

①開催日当日は、物販やフードコートもあります。

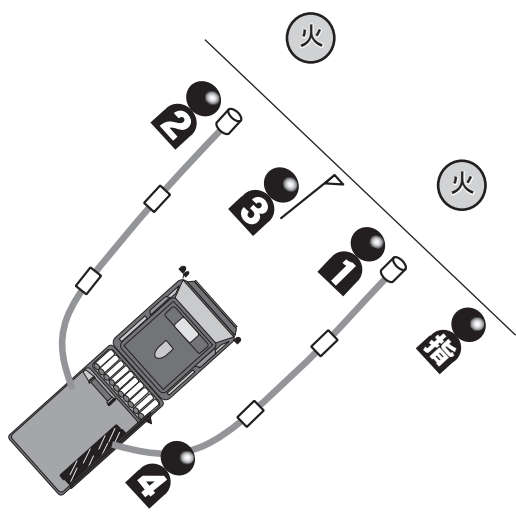
②大会会場へは、一色さかなセンターからシャトルバスが運行します。

問合せ 市消防本部総務課消防担当 (☎56・6250)

◆消防操法とは

消防操法とは消火活動の基本動作を集約したもので、火点を想定した2つの標的を、放水して倒すまでのタイムや動作の正確さを競います。指揮者、1番、4番員、補助員の計6人で操法を行い、ホース伸ばしや放水、機械操作などそれぞれの役割が細かく決められています。

●ポンプ車操法の部のイメージ図





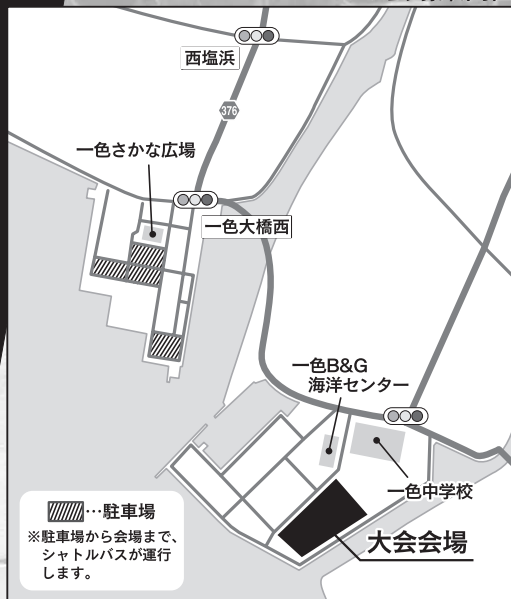
市消防団を代表して大会に出場する
一色消防団の選手たち



連日、
厳しい訓練を
実施中!



▼会場案内図



◆消防操法で評価されるポイント

トは
消防操法では、「正確に」「素早く」「
「結束して」操法を行った団体が高得点
を得られます。主なポイントは次のとお
りです。

正確に

- 隊員 1 人ひとりの行動を、個別に細かく審査します。
- ホースの結合の仕方を間違えたり、放水時の水圧に耐え切れず隊員がふらついてしまうなどしたら、減点の対象になります。

素早く

- 隊員の「操作始め、よし！」の声で計測が始まり、1 つ目の火点(標的)が倒れた時点で 1 回目のタイム計測が終了。
- 「第 2 線延長始め！」の声で 2 回目のタイム計測が始まり、2 つ目の火点が倒れた時点で 2 回目のタイム計測が終了。
- 2 回の計測結果で得点が決まります。早いほど高得点。
※小型ポンプ操法は 1 回の計測。

結束して

- チーム全体を規律、節度、士気などの項目で総合的に判断します。
- はっきりと正しい号令を出しているか。始めから終わりまでキビキビと動いているか。ホースはきれいに伸びているか、などを審査します。